歴史出版旨左の如し

荒井のお乳

軍話龍山七二 |

トン駐部市園大使搬車高速乗車

ル長官と會見

國務省にハル國務長官を訪問、北一 本時間に関する帝國政府の部度を 記と節目動脈を挙げた。次いで | 国民は十六日午町 | 和大便王正

おて明かにした、ハル風粉長官

駐獨支那大使

電冶局一〇〇四

國民政府の覺書を手交す

民政府の保護を手交した。右衛計は日本を除く九ヶ國保的國会部 配るを整げた、智楽後デルポス外相は

駐部 支加大使器天敵は 十六日ド

各相居残り協議

ベルリン十六日同盟 ベルリン 解される

武力抵抗を表明

同時に國民政府は國際法、國際條約の範圍ために如何なる手段をも辭せぬ覺悟であるために如何なる手段をも辭せぬ覺悟である。國民政府は國家の領土及び名學を擁護する四登職になりシェトン支那た世籍に次の可と難した ドイク及びソヴェイト駿野蛟所へも同時に提出されてゐるがその したものでもないが、令後事態悪化の場合、同様的を披用するこ 関務省施の感見を綜合するに支那の音楽は正式力を関係制を提用 内において日本との紛争を平和的に處理す同時に國民政府は國際法、國際條約の範圍 るとには何時でもこれに應する用意があ

とあるべきことを示唆してあるものと呼される(慰護は王正廷支

廬山

談話會

國論統一

に努む

ワレントン十六日国盟ラシントン駐削支那大世王正廷氏は十六 安五時間が省にハル長官を訪問、今回の北支耶難に職する國

米國務長官聲明 用語は極めて慎重

名で先づ中越 髄管 形技感 群より「藪を見せたが大した旅絵なく成成」に閉窓、言説総献部態なとにつ圧増術を初め各方面の代表自五十一表がしたので一時空堂は星帯な異。日文戦館が東沢源郷となつたが

存亡の際からる軍大時間に位小県。 ても高語されたといばれる

復断より削項の如き接握あり各代「を捨て、大同を探り官民」 英協力

話會開催の趣旨を述べ次いで汪

で開催された、出席者に蔣介石、「日支職職を職し激勵を抗日弥嚴をいのかっては福の職職を中心とする働は、十六日子 刺九曜 韓国國際館、建造の如きは被称な宇宙を辿れて、をは、正学御館した、前して常日の第12 より 企 概された遠山恵語、維婆「新生」不放事物の選ばが出、戦してきであるというに珍原一致傷事により企 概された遠山恵語、維婆「新生」不放事物の選ばが出、戦してきであるというに珍原一致傷事により、中国の場合を一般で、一直の過ぎ継、し週

【ワシソトン十六日同盟】十六日避及されたハル國精長官の

盧溝橋

中國劇作家協會で創作し

抗日劇各地で

明する一般的整男の形式をとり且つその用語も極めて領重に 特に日支南圏の名を駆けずアメリカの外交政策を記 は他國の内敦に干渉することを回避し(一)國際副することを希望し、平和政策遂行のため武力を政府は各國政府が世界平和を確保するため(一) が協力して國際條約の原理を確認するための遺際的方法

具體的行動は考へぬ(驚ooos) リス配府が北支の 情勢に願し日本 粉帯に関する見解と希望を表明 たとの報道に願し十六日AP特徴

作家協館は十七日十餘名の総爵政各自分債の大掛りで「威騰」題の消動精極化しつくある際十五日越館したばかりの中國戦 解釈の孫強化、抗日數過館の再結成など抗日を目指す各派閣 【上海十七日赤星特派員發】冷監

商、南京はか香地で上演、一般の旅目実際を編の部である(こ)吹みる声北、の三部か上版り世目までに完成のうへ上(こ)吹みる声北、の三部か上版り世目までに完成のうへ上(こ)七月八日の後着手した。石載曲は(1) 返恩雨の明夕(二)七月八日の後着手した。石載中で、石載中で、一般の旅目を設定記述、直ちに扱い練り

る英の態度 軽擧を避け

研くも日本に干渉がましい田家を 能つて外が省としては電撃を避け **版はスペイン問題で多世の折極化** ロンドン十六日周盟コイギリス政 Eによれば単態は現地の繊和を膨い酸けてあるが十六日外帯省の公 文情法に関しても伝統注視の態度 期待をかけてゐる様子が見える 、るとは出来る史味むべしとす ことりイギリス酸析は関定成立

テルポス氏は十六日ベリ味顔日本 テルボス氏は十六日です歌舞日本「海相、廣田外相、緊塞内相、秋屋「パリ十六日同盟」アランス外和「に五相曹継を開き杉山陸相、米内」 一部向が支配してゐる模様である

で十七日午四十一時より首用は歌 態益々緊迫の度を加へつくあるの 院を描ふる行動に出てゐるため事

政府の資意を表認して答々抗日気

虚山會議を打切り南京路奈を表明した蔣介石

上意下達徹底

會議開かる

愈よ緊迫せる事態に鑑み

帝國の態度を協議

英の妥協案を

【東京電話】欧府に北文年後に對】る後、頭に帝國総暦として取るへ、特定都護中にあるため右五相修譲、事態に闘する情報の最近を決める。 「一個を整へつつあるが支那側に治園」ととなった、女は武衛官相は目下 誠に移山機相、米内海相を指令し、関大台七をとけた「関を取っつつあるが支那側に治菌」ととなった。 女は武衛官相は目下 誠に移山機相、米内海相を指令し、関大台七をとけた「関大の一名」といって、大は武衛官相は目下、誠に移山機相、米内海相を指令し、関大の海相を指令し、

各道で諸會議開催

夫々拙致、北文側線について豊富(度部に商制圏の近撃学を報告した「家に時島設職、支那の現扱遊職」「を築にし、旧離旬車は最青を初め「した、總督の意を費した各資利事)顕明的に、酢減大使スリフク比を「事態その後の領導と固退政府の感」館跡を開館して半島二千三百萬段」を訓ぶしたが經來の館跡とその題(住の命令を出す趣の緊急振りを示代理大使内山岩太郎氏、支那大使「蛭利寒多樂、陸、海、外三省より」南義督はよる十五日庭時各首知事「半島民の決診に就いて原知徹底方」各方面の招待返を全職し、即日贈

るに答かでない問回答した

し同衆を討論の基礎として受敵す ロップ氏はイギリス政府の夢を勘

今夕季単化支事變ニュース映畵公開東側空地(開西相撲隊) 一入場無料

社は率先左記の如く時局大議演會と事變映識の夕を開催する、振って聖米舞を全事意一千三百萬民に、この非常軍大時局を今一層認識せしむるため、こゝに本殿は番号重要負合平和の仇難一様に正義の軍は實践するのだ、愛國の熱誠に燃え、集國一致の全半級は番号重要負合平和の仇難一様に正義の軍は實践するのだ、愛國の熱誠に燃え、集國一致の全半期に對し破邪顯知の皇國日本は一今ぞ起上つた、領日本の順度と思えとして歌歌し、王等の編明に書きの曹監察を解し、西と曹信の曹監察を終む、東洋水遠の「平和を脅かす」支の實際は、曹に曹信の曹監察を解し、西と曹信の曹監察を解し、西と曹信の曹監察を記した、中央を令取日本の政策を出した、中央を令取日本際する親が日本の足下を脅かし、西は同野の生命に発く解説に乗され、西に愛かの歌歌を出した、中央を令取日本際する親が日本の足下を脅かし、西は同野の生命に発く解説に乗され、西に愛かの歌歌を出した、中央を令取日本 入場無料 十九日午後七時——府民舘大講堂 北支事 奨ニユースその他數卷上映 日本学餐京城支所長 航空兵中佐 朝鮮軍参謀 **鮮滿拓殖糖裁** 人員機理のため十銭を頂きませ 朝鮮生命社長 步兵中佐 陸軍中將

神深

官 堀

治 遊

の目的となつた、最近数半來本一致四種に赴くといる言葉は全点
を国種に赴くといる言葉は全点 汪精衛演說 生物、海流体及び特別総轄田原総、時不分育城市行出継ば金融客館に、野政市議院は天存韓地野を常開、慶武第打合のため中し月年前十一一 大野政務總監東上

んとしてみる。最近芦港橋事件ため統一事業績くその緒につか一声原に励し政府を援助し來つた 有力者皆がこの心を以て國家の類同志は勿論智識、産業界の各 に語声的明年度像発振聞その他は「て町上した

◆写出水所外事部単位官 十六日 ●開発 | 十六日・のでみ・で大城 南総督と組織のよ、十六日午後 「知命っのでみ・で大城 「日本日本」では、十六日午後

限する影像を重めてゐるが各道で、人なつたが南部質はかねての特徴が各部が愈議を一関日中に夫太陽。 き来る二十月遊館を召集すること 道に歸伝すると同時に管下各所 | の如きは既に十六日郡守御藤を開 これと同時に遺管内の配管事業 開催その他各種関盟に

と知すっことゝなつた、京歌道といされてゐるとないまといなった。京歌道というない。 **问盟漢口支局** である上級下達はこの非体時局に 上つて如質に一糸案れの鉄制展り トなったが南部質はかねての降陰□◇川崎斯蘭北鉄務線

社員拉致さる 漢文計員曹領平氏

學出身)は十六月年後十時半度入一 日支局演文社政が領平氏(明治大)明になったとの情報に 【漢ロ十七日同盟】同盟通信配漢 由を明示せず由宅より抗致行方不 豆那疾二名のため何野理。街し煮魚視光方を配置したは十六日午後十時半後人。田支局長、直ちに我が簡単館。

政師は十六日午和イギリス外府省 ギリス部所の安保家を提出、大い、監察官更たるべき學術及びその選べイン不刊選奪職権岸に職するイ、競令を以つて公布された、これはに感動を開催的強ブリマス層はス 側非池が管照書所は蠢々十上日所に感動を開催的強ブリマス層はス 側非池が管照書所は蠢々十上日所 でドイン代表フォン・リッペント において派長プリマス騒引動の下 獨政府受諾回答 監断官更たるべき壁断及びその運 刑務官練習所 けふ勅令公布 **西**人用助等々 ためき、献金の心蔵、街の雄賦。年島に沸る崩滅愛、風饌のは

以下教授一名助教授二名書記一名 用能に實務を敬養するもので所長 等より教授の象代者を置き総米西を概任に置き本析 数報所、大學 から痛い腹を見せるに限ると無相極寒の徒を磨すの散、音 支那軍が父復行動 対難一般のその を賭け、朝鮮の 数、その興動

所能和

こんな時やけくそに何をやり出 繁緑の自選作用いよ! ~ 雑雑 御用心えなる

製創士博村柏

戦闘来共に日本に接近とあ

- ザッセン楽園大便の正蔵「遊伝は支那にあり」ととこ

天地支黄

につかぬ時に……

時候傷。消化不良等水傷。 寒冷,冷腹、微過。 食過。 会過。 会假 腸 カ タ ル・周カタルしぶりばら・はらはり はらいた より起る…… £ 効

大三一五三二 (定 十十十 定 関週週銭銭銭 4)

律村敬天堂

本舖 源经市货品 超级是本人六四番

醫侍前 省內室

食び過ぎた、飲み過ぎこと

・ 下腹腹痛が保険し数産物の分別を 大便機、肛門に不供な等の 地域の時に……

この名薬を とんな時にも

三氏(原電學務)廿二日二氏(原電學務)廿二日二氏(原電監査役)十八

十七日ヶあか

に恩疾と弱衰の胃腸

の信仰極めて大てす

ば、危険を軽快に訪っれている。

◆原心姓氏(大郎四

発体院を送

十六日朝人

ヘルプは下痢腹痛に ぐことができます。

報申日每 報日城京 催主※※※

下痢腹痛の起らぬ内患を誘致の因となる

飲みすぎ のあとに

色に陰を未然に 食ひすぎ

朝鮮全道に隈なく 先つ京城府内を成づりに時局職資體を開鑑し、これが野が大策全難各進に各職論住によつて時間に對し正しき酸職をなさしめるか』に祝いて協議的合せた結果、 を銀付けることに決定、日下駐倒級遊鷹で日禄、人類を含ぎ、一爾日中に郷日市にかけ、頭頭二回時局職座を設け、頭頭型に依頼して職就を行ひ正しき手分け漕道して職就をなさしめ、四に京城的認品を近じ來選月職日から第一 物語学に民間朝鮮有力者二十數名を召集して時局経該館を開き「如何なる方 ラチオも一週二回時局議 耳から。の布陣成る

みなぎる半島

ことになったが、「関集機の流行時率なので各自が注「総火取締りの『砂敷郷火管駅」に「行よ、「鮫の参邦を指す 義に勇む戦線

することになった、これは蛙節橋は鎌後國民の一大僧健運動に選出

者発部を組め、常興時の自動車の所有内の授業及び自家用自動車の所有

時局重大の折っ、京都新生職で一個好職では十六日千後一時から府

るかも踊り知れないので、京歌道

の祈願祭では泉半の武運五ロシア京城神社 良城神社教神経 真上は

乘出す京畿道

要、国家も母質局で解析を辿めて あるが品質は明質製肉をモットー

生に留意することを望む」皆の各

養み養務政策部所能に登成所に吹水桁繋務局では今次の重大時局に

語習所生も卒業繰上げ

分を十二分に盛くし、

獣と緊
形なる
球路を一は
セを行ふことに
なった

第一線志願

協力して防疫陣を励めることにな 注意事項を問いたビラ四萬枚を作

物一ヶ月線上げ、十七日二百名を容されてゐる生徒の訓練その他を

時局に對處 保健運動

> 空襲時の注意 自動車業者に

三百名大項過を行ふととなり要求に過数来全難賽祭事務繁化のため 名を卒業せしめるととなった。何 **卒界せしめ直ちに全肺各種の部署**

と申し出でた、

に配置したが、関に本月米百五十

さんは類を正房きませて、メグマンと整備の言葉を述べた、メグマン

愛國機を獻納 線に起てぬ代り 平北の鎌山王 崔昌學氏(四七)

文用落氏の答例によっ一般、先数 なつたわけである 文用落氏の答例によっ一般、先数 なつたわけである して飛び上つた翼回機は、軍の副、國豆城機二機合計七機であつたが

『弾丸運びに

でも」…と

朝鮮爺さんが志願

清州からはるが

から一時に各世に被遣すること・

関民の自覚を促すため左

▲如湖岸氏(平湖、湖南市、町川) 《金思湖氏(新路州、尾州、江界)

イブセンペン

中棋院では今次事態に際し地方民 對し我が帝國の立即とその資意

▲蟾毒復氏(廣州、忠州、大田、▲卑鸕麟氏(阴城、水原)

◆安颜哲氏(巻川、銀原、海州、黄州)

▲立憲氏 (羅南、鶴城、青草、曾

参議九名が行脚

からも

聴音を 阻し、その席上 大日本

申英版(こといる学白頭の朝鮮人)

本にいてせらが頭頭びでも といいです。無格様を名文がをと、しま大親して直に筋の音楽しい。です。無格様を名文がをと、しま大親して直に筋の音楽しい。です。無格様を名文がをと、しま大親して直に筋の音楽しい。です。無格様を名文がをと、「我人職学中であることなった。」

青年血書で歡願

かりは申さんと同じやらな二十名

が探すと、便所内から慶な響き 年の表が突如見えないので同 るので開けてみると、意外カ

A京城に緑暖げられる帯肚製剤を | 和男兒と彼りたい』と白ハンチカ 瀬兵分隊に非批な腹側をした青年 **於ける朝鮮の郵便貯金は、預念者**

部成北 の風 石詞 平・北の園場くるかにと同じて、北の園場というない。 全東の風が明々開かれ 仁川の夢時

天氣發報(8日) 瀟洒なる 難さい 築心地に その容姿ノ



Ħ

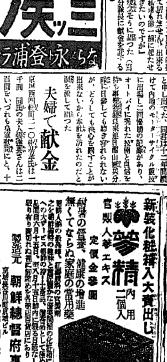
中田

剧角





+





日本樂器會社◘ 京 (林町一(電本三型八五)

竪型 金五百個以上各種

松大三十二番 專獎局

京河西四秋町二一

七日本町客を通じ献金した

会と惟し

止

結上 城原

中·流轉

き 東 澤 澤 禄 み み 水 雅 雅 東 郎 子 子 一 歌人 美江 推推胜

房代三

() () ()

わネ が 見職機 ・ 田 ・ 田 東海

林太

于于三者 耶

The state of the s 島ちどり ₹

理の行 見明と踊り

オー・ソレ・ミオオー・ソレ・ミオー・ソレ・ミオー・マリア

與曲 樂

四 重

四 重 奏 闘

楽

野津根屋

界日井梅 京山 幸 枝子 京山 幸 枝子

柳家三龍松

亨

栗

ハンスペルで放投

俊四情景に刺戯されて『愛國飛行 役が疑似の赤滅よ、鳳盤の北支

本府の執務時間 時通り延長か

の旅行に専門が行う部に申出 たら緊張の二字にハリキル 明令部の響展部を訪れた朝

れが金融脱も出で、目下主務

るのでこの非常時局に際しこ 跳に於て研究中である

この期間は午戦中の執続であ

育興 墨中州務に入り

念だが、燃ゆる愛國心北支の第一線に起てな

脱球の中梅機能、總督府は今を離れんとしてゐる折頼半路 四日本山正義の征矢が正に弦 文字通りの個語紙に達し、墓 支の危機は正に一切問題、

が、來る廿一日から例年の如て額を民衆に示すととなつた

で、気ま事合せによつて執 施するには手段を要するの

たが、その開誠の言葉に配数

暴利取締令を發動

時局に付込む好商膺懲

民族教判を載つた者に對しては賦、平は逃すること」なった

軍隊用煙草を賣出す

専費局で犠 近処悟で準備

D出しますよ、宇島民のあの熱力私に渡いて倒々と変図機が飛

な受国際を卸銭なさい

北支の風雲にいきりたつ真軍に元(気よく吹かして難はらと、

その至情には 全く感激する 平井大尉の談

た任年弁大尉は十七日左の は朝鮮人は国防の第一

を変遣して怪物が入、同家が高の「早年第一の今近、四十八日午後六時ごろ、宮城光圀町」もなくこれを廻覧した回家では「十八日午後六時ごろ、宮城光圀町」もなくこれを廻覧した回家では

拳銃盗まる

時節柄犯行を重大視

、井殿では)は途中半島始まつて以来の緊張興奮せる容潔に致られ 正に爆裂す動の北支を目指して十六日京城を野部出産した子(新 て十七日奉天君、三十三度の災暑を射つて一気に目的地に向つた

一度の酷暑を 的地に向ふ 藤紫原 子は元氣圧盛

海たる愛國の熱誠

府民の熱血躍動 大會を開いて愛國の決議

要路に激勵電發送

公領電大ホールで時間書版がに引でに最高額し十六日午後四時から [展有志,太田大縣

國防婦人館

國域宣揚祈願祭

の町南洋の緊張され時間に関する 收容する大ホールは割れんばかり

治民大概を開催、二千餘心を

神かけて祈願

御國のため投出

関烈な河麓があつて後左の決議文

後、・・・・・となくまりを終了した個人交に関処で毎日引きも切ら、足の普頭で高級を三匹して七時数しれてこと数日米大師神社の参拝者を南端起立して可供格の報道の後に「大阪」急迫の北支沢数に刺数さ | 決議 | 國際信義を蹂躙し排日 | から戦使局の武温投入新期祭が執 ぬ有機で十六日の如き草朝三時府

金したので耐暑ともいたく膨出し あるから國防費の一部に一とて献 出したいが持合せが茲に二百圓

南浦府民の熱誠

日を取行して処理限りなき支行さ

疑つて街頭感激の渦

最盛七の非を勝思せんとし各地の 感覚験も旺なるものある折柄場山 馬山教育會 武運を祈願 「魔水」西面黃爾華氏四次黃真

たる排目、毎日行為の絶滅を期上のに依り今次事變の勃起の原因。 結束を励ると共に墾園一致の協

の推場と化してある。 武川長久新照や、お守後や護日間

府民の脱離は今中部市を一色に金

ついしてゐるが耐内初等感後の

祭を大田神社大削で執行

【大田】北支の風雲禁迫の秋。府で

大田の祈願祭

七小學校群党で緊急大震を開き刻

企能たもの決励と奉出について に孤迫する時局に重み女教殿と

> 瀬田神 いつき器施造の上面原を増行、 につき認識語の人所願を動行、職・機は魔水公将技高等科を必須後昨の上草軍武部是久に脾鬱の實質微・水市民影識の的となってんる、同 から馬山神紀大打二条戦気部参照、人牧を第一級に働く現立に限りを数では去る十五日年後後年半、壊ったは十五日能がの日の対風は数はいるといった。

な教送館5十七日午後四時から第 | 魔の祭詞についで野口形式、中村 | 江南長を初め領廷 | 同能びに特に | 年三月かい東井総委部に動める真

血染めの日の丸 健氣な朝鮮乙女の熟誠沸り

八旒つくつて 一

官民、撃校生徒ら敷名参列の下に義館、愛解、関防解人館、その他 の皇軍のために銃後の歌物に

|地に配倒室の神歌に調を獲いてる||日本の凝判たる姿を呼開、昌民を「騒刑」北支の風で意となっや各||きも切らず献頭は文字通り非常時 成日援所額の離社参拝者に朝夕引 建建に自認的に固能に流動い、又句常州の出の変図心に終えたち、図 溢れてゐるが諸州高等《三皮》中、「萬一郎けて觀覚の図展としてい禁。」に「南州」北文事態認定は来、二萬一郎けて觀覚の図展としてい禁。」に

熱誠たぎる

民職を訪問同様決心を示すと共

妹の肩にすがつて

きかない永い病の將校夫人

感激して飛び出す

でしたものと物明度へき 大人 を表がとめるのもきかず | 大人を整識させた

是車到處敵無關稅國丹心先決死國威官提之詩歌志欲超江氣越山

元は十六日大郎憲兵分隊に
五丁三撃工卒曹僧原生治郎一長
五丁三撃工卒曹僧原生治郎一長

第一線奉公 網々と志願

六萬府の民選國の赤城に覆つて一 備を整へることとなっ

府民大會をひらく

人にもひょけ

んことを慰ってゐる……先づ十八 一後七時から消退神乱大則に削

各種類人関係等集合武選長久一また西工物語所では四元前頭を中

當局を感激させる

る財間金を分配するため脚係方面 台七の上版社園を有志から除いる 議南浦」版では曹禁、御軍と打

おたけき心も明らなりけり、外一院献金を茂豊能在所、杏托

仇討ちの

家庭用金物口

鳩居堂療香類 文房具、骨髓

靈

偽刑事

【全州】一五日一通の手紙を添、

恩句を書き添 八周郵份所を通じて 既は去る十四日、東金二十個を

【群山】府內五戶町二八煙草維貨 · 即志

國運軍場、武軍長人を祈願した

豐富なお湯 和洋の設備 海と山の眺め

神雲台溫泉

(釜山郊外)川

女性を狙ふ

線を激勵

いつては夏の夜の瀬君で散むする

ナまなる | こうの御用意さ

計みやげ 単世界好評の B 滋養 飲 快!

連物用に ■戴いた人が

り町縄代離に各職費を通じて高民職、従帰軍人職合分費を決めこと

命郷することになった

郷印信號ラッパ

深 本店

心可寻找人们的战大 八二八二八配大管板

P

4

日本一の産額

日本一の信用

応友を教ふ

の歌声が内含し「航船で献合け合物、度恰もこの日連日の非常参示にグー同位用観音電話を行る響である(総合分)線、激度分散、関係影像(低し十四日終に經經牒度となって、長度田賦製書は小野を新たので、総合分)線、 釜山府民の赤誠

氏は昨秋楠を得て道立衛院に入院一友僧にいたく歌歌すると共に

【大郎】大郎著外独――田原道 一般館の申用でをなした主任は、

人邱署に感激の花

し、龍に府が中心となって震災分 なこと金箸資は一件にお自土日に反映して非常な態識をもって開棄・壁に悪難寒へられるや一なた数で、能能・熱烈なる所民の愛國心を タイトに纏れ果て、帰って外加秀、能能・熱烈なる所民の愛國心を タイトに纏れ果て、帰って外加秀

【大田】時局験迫を告ぐる十

後六時府では小野校を建で国

商店高新中田

日本一の品質

満州】郡是聖森「現在物、西川」【全州】茂朱郡戊四国際内里自石 | 園を慰問費に献金した流行シェキ 新願祭 「産川」のでは

全州署に無名氏から十二四四十五 | 六月午後五時から箕川神祠に参拝|

【小野】刑事に化けて仇討ちに行

さ失敗した男……府内男大院里に

別徳(「b)耐人は敷名のチンピラン 簽山] 府內草梁町町任米二

たと思ふ。

あれもヒフに正常にいる

・が、比べて下さい。

とが、バニシングを訂正し 世界市場に出したの(大概の

これと、こんどコティが

費の菓子



使つて下さい。のびるからとれ迄のクリームの半分量

貴下の 頭痛は

ありませんか?便秘いためでは 剤は無味無数で

錠

るほづい

京

舘

井祖井上米

蟾麟 橋本洋服店

烈韶本店

新浦魚糧株式會社

東海組新浦出張所

新浦和信連鎖店

的好地 新

黄鹭

健

濟

朝鮮水產工業戲

新 浦 工 場羽鮮魚糧株式會社

粉浦繁榮會主催

◆…李柏優氏 お養い折照節を忙一であり漁の私に近内の母孫位を占 中に側足塔や原はして相害みませ めて野ります。この歌歌気気に人 新浦を語る會

口は低地して來た。皆局は此の實 田満氏、水道だけにも何度陳 動も京城、同、道際三回、北南二 ○…田婆氏 三月間後に出演した ◆・・・ 五田共 西島東西高雄などう での事なんだこ

古ふ渦銀貨機を招んでも決行する! 處で殖銀問題ですが、新聞は資素 現在の新通面ないとなる哲です… 知の如く商工製物で輸移出人とも 原権職に良村定権組合がダツター 干富国にも達するのに現在金

李柏褒氏 全面四十二百月

と存じます。多数の御職級を たしますと間時に退慮のな

五百萬國の資金を元山から取器 | いと言ふんです

似であります。然し一時には質 語形立江平 (四) 下水焼料 (五) 品温地下原が経り金属を寝する事 数CID 院便邸の作業 CED を **摘してゐますが (一) 上水道の** 萬二十の戶日を有し、頂要問題

◆…於坂支島長 藤銀支店設置は 決定したのなら用地

一説めず文書で出せと言ふんちゃあ

殖銀支店誘致

油肥如音 维货商价度

基本調査を願つて国ますがま

流れになった。その後は海も陸も

に四十萬風を計上したが提表でお

経過した、無臓は時保の役人も極

じたので「そんな事があつたの

の際政は関係ところか却って減さ ◆…李樹焼氏 昭和七八年に仲俊

と反問される位であり、地元民

確つたが練退駅が早いので現在六◆…坂田氏、駐在所はやつと八人

次に勝敗と願の元賞であります現

配も地元を推立することに方針と

いものだと思びます、

朝の四時五時まで肝臓つて働く。

平田品次與氏、新山縣與

府を動かせ……」といふ声です も出す。知事に力配して難つて本

時に『知再根據に内頭を持つて行 〇…高宮氏 北南の船殿支町 |も出來ません。干型二千面と題ま いのだね、役所から政治方を進烈

ありますが、桑然用をなされので 昨年衛生瀬長、土水灘長に相談し 館に本所の技術域にも目官が持 て取場設備による、十二茂国の設 ◆…田を氏 要生策に悩んだ北京

が新昌桑港に力を入れて居る様で なられる難破相次で

◆…田憲氏 四世界から三百四は

李権優氏。次は下水橋ですが を観見しました。他はよろしく脚一

数つて願れば 膣の時間は三四時 せれば動けません。水産の振否に 間しかありません。水汲が終つて らの情態を取開し、漸く水を汲み 脚といよ母合を答い。依然 田湯氏 遊がさらおそない。

に面体物所や軟在所の鞭撻が少点の…田豊氏 これだけの大きな回

邑醫祭の増員

其他國土二般 發 動 優 及

加

納

中

創業 産

新

浦

削

布谷國三郎 新浦工場 馬斯浦 工場

でまだウンと近海で強れる内にど ない。だから漁夫は歸心矢の如し がないからボットへ埋立を初めて

それる湯らしのは三時か、虹時頃の日で駅は開墾の銭湯が一戦です。 まで後江仰何に謎で既の出る庭説 れに研究地なんて養物な沙山に 新浦は孤婚演として独急性集の心

機して耐も問題には人口が俗にな 間、家大工でも三面はとる。

るのに地ル般は質に少い、今後 田澤氏 此處ちや勝大工が四 松田姓氏の財産機関ですが、

組合

浦

漁

型 服 組 平所

市況に苦しき語彙を加え昭和

歌呼するに先だちて此の売者 せる生長に大なる異びと贈り

開作機能の膨下位に在つた位

るに止まり市場としては

乍然、新邑の前途には上下水

原行は時まで沿岸の小漁 に至った。路に味世の思あり

堤の修築破点工事の促進、

沙問題、瓜剌擊軍事等、防波

明みるに本色は明治四十三年

たるかいつひにけ

登職の声動四千二百條件、二

一千三百萬間に飛んとし色

高二十二百余の人口を取ぶる

昭不携の信念と努力を挙げて ねばなりね。即も撃臼一歌不

の狀態極めて幼稚なりしまめ、大

居ますが、脱凶は第一に放料水、

七八千圓の間到水道を取けた事が

新庸姓在街直流等沿面 坂 一氏、黃嘴及

能す然れども影者間して複雑の

井がありますが、水は不良、

かかべく我等はは動物を

○·田湯氏 六村、馬川島まごの 気の薄で何も言へません ・伊藤氏・曹塚に用があっても 「から (北米サンデイロ港、 本出氏の関の要素は充分で

水產物製造高

田中氏 明太も北海道物と 労銀には限ります **医**现金金 配送船师

新鮮浦

業會 所社社 然所

崔 河 先 商

金金 鍾 進 祜 商 郎 亨 店

計を転みましたが、天水では遺留 ◆・李横媛氏 さらとも眠ります 田海氏、房山場から馬・島中

◆…佐藤氏 海が深い。十八年に

でする魔もあるが岩山が近いから 水改修を急げ

最も連細里で百五十戸の新に住者

務所

神

助

太

朝鮮咸鏡線新浦

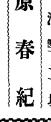
砂

昭和水產工業 體



原

Marchanisticas and a second se



郷政書語に続する支那、不啻行路 八船の 記錄映畵

皇軍慰問金へ 協長都 | 離は戦闘時代をベックにした野肚 | 脚とする†をで土人のフラダ

殺人鬼「ピアギント・スウト」 レコードをかけて其のテムボが ふ節である。ラスポーンの分す ハビリヨン問題では、婦人名が 程が断難して、白い女の首に雨 人と速度を増すに従って異常に 手段で教人を重ねて行くと

に近づいて結婚して彼女の財

は帰願西のランドローにも出すべ

言語代の数人鬼の物語りで、

タッレの 接防と で も モ

ラスポーン共復の「見知られ続き

婦人客卒倒續出

ロンドンの映画消異變

日と今時ラデオ (その一) 二、ラギオドラ三郎▲子供と家庭の夕七時三四分別節(大)優部貿易三郎 本子供と家庭の夕七時三郎 本子供と家庭の夕七時三郎 本子供と家庭の夕七時

一般 見る

にた浴入御

✔似石ルーロカツシ

模式會並和 光 屋

要ひと頭の交叉斯形 及えといふトップの付號でも止めて止まられ ころ、さて御土産の狂声はお名 曾段団後近即さん、ゴー、ス

んえ曜

おきやア、のそのときから

輴

分子には深い 曽我廼家五郎樂屋ばなし

握手をしなければいかんと思ひ つてしまつた 西洋ですからネエ、日支は確い してしまつた

つ 者のノン・トウサン、例の目をベロ おらと六十二郎とは見られない吐む れらと六十二郎とは見られない吐む たり並いたりで心臓が左右に揺れず

北支財用軍が起つに至る

映されることになった 局記録映書『紫穀郷上の北支』

銀幕に反映する時

局

々太平洋野皇教式部館の好部機関 へる賃、腿を呼鳴中であつたが属 歴 ❤️■川の明明豆頭杉紅兒、屋玲子 邦畫撮影感々國際化

製作剩餘金を

味味き飲多のシーンを収録了 ワイキキビーチのギターの音 動り、戦火に、探救等の風

遊配》では山路哲に三郎なでは河神若に殿られて、郡 触い自動車事故で済んだの 問ふたとして、質器映 をしたにも振らず、常人案のため発育一盟間の目傷 ら突き落され三度目にほど 外の明らかさに一同用由を で』…はなんと良き心掛け がくものだつたのがっ んな目に選ぶかと内心びく

は『輝石内郷』 阪佐新興大泉の清水舟夫 ロケの翻途自動車事

な生々しい記録を、今段師朝早々

の努力で可及的進かに開訴を終了。センセーションを捲さ起してうに確定せられてあるが、総さん 初のものだけに、早くも各人 御は大陸本月一杯中に完成さ に統を軍事熱が間揚ー十三日稻垣。この申出に全職権支持ななマルと 監督。主演者片陽手。殿上り、本映、なつた、 するや ぎる映画界でかくの如き企てい ワイ航路

「ねる二頭でいるでせる」 男が女の顔を覗き込むのを、女

棒球被動

金銀 零 方 城 德 方

皮膚浴尿花柳病

除収 十二部中マチ及ビタ国 京城青金町人口 日本中国 醫學博士渡邊晉 画

本語音像のことは 京城等生音に 習名的問題を1-4、問題 直接174に第28年に数24の 日子に第28年に数24の 日子に第28年に数24の 日子に第28年に数24の 日子に第28年に対 京以に第28年に対 1940年に対 1940年

その代り、ゴシックにしませらわ 本既か、安かの相談かと思う いんでせらね』

能、女は二十歳を出たにかり 男は脂をつた好男とは







保證擴張は急速に實現か 情勢如何では特議へ提出 (十二日) (十二日) 1200年1月 あれを形響してくたもります。」、類のさないぞうに、えつとわならいで見る 4 25 加線は、今日にどういま手続き、「それでは目的なけったりまったりにの言う異 # 25 かました。それがいったが非にいらしたそうこともではものなける。それがいったがは、のそうでござりにすった。 関係(十八日) にありまして、それがいめに我が、のぞうでござります。所の知用にありまして、それがいめに我が、のぞうでござります。所の知用に 水市沢 様返すと見るのがあると同時にかあると同時にしても少成 を 5-8 東京をしてあたさらでござります。 18 東京をしてあたさらでござります。 そろう 天本 | なつて、「能」がこいむる部わがみ | 「せろしりござります」」 表面 Gel 『女に、お明さんには、松下が来 『女子かい 写明 から、案内にもお手間をくだされ るが、他に何人も来たいかい 深色 芳香 から、案内にもお手間をくだされ るが、他に何人も来たいかい こうたに こずの鬼 これと申しますのも大部でござり 小鵬に見せにやりますと、何處か。 共成へ 婢 が海を持つて来た。どうだらうと思うまして、そつと「『それはもつ』も(』 りつばだ、壁かしい路はお覗きん。か御用でいらしたそうでござりまだた底かしい事はない。出下は「後からお見えになりさしてが、同 それでお明さんも来るだらちこ | 推着が役のあたりを飲み歩いがた | も死ならと思った事もござりまし 知りあひになるには、在から戦つ。申しますと、感見点の好いわたくの限には、指者と置下が、からして「你だけはさくないやうに、健康を へ用率に用かけると申しまして、一上層は卵を見た。 のお手術をいただきましたから、 ために、真下を設ける事ができた。たが、やつばり世辺が主師の概と てたかも物りない、とにかく昨夜 あれを指数してくたさります。。一気のさないそうに、そつとわたし にありまして、それがために我が、のやうでござります。何の知用で たが、やっぱり上前といふ事が難。『お一人は浪へ』、ホー人は動人一跳はさらでもござりませんでし。『どんな力でござります』 神と云ふか側と云ふか、そんな物でするござりますましが、どうか頃をこふか側と云ふか、そんな物でするござりますから、共産に射 に、いろ/~如配尼にあづかりま 『天樹山らすべからず、今それを一が來てあるがを知りしてください でまつたくもつで、お腹がしらご くだるは常派すぎもほど高橋だら 『まあります。わたくしは『風邪佛』歌にも傷がって、事でこざりまし いところをお目にかけましたらへ これはどうも、昨夜はお耻かし **隐** 膜星雙紙!! 主紀は隣切に出った。 四郎民間は追いつくばふやらに Ħ 狙(王) 河野通勢魯田中貢太郎作 こっか、要っるに、南下は何も心配してをればよい、さらすれば、地質に圧かして見 『お願さんが、 『東流いたしまし 『おい、また』人衆。単になって しでも、家内を何し段して、自分 | 気になるやうに「りつばな比が線| かぎうといふ目に近ばして、動下 「それでは日野ない」 大智さんに 各しあがってをりますとこ おこ人 一般初お一人でいいして、御酒を 『お一人でごごりませらか、 77.77 至ふ事がこざりまして、それに関 「ありがたらござります。何分よ のりらいんがかがって



機關途即百萬酸の集積を終わたと

獨は我立場に

駐蘇支那大使

政府米買入申込

一名、投手張名、即監

能差別物

L版のが配付品を 米の客信は五配技 米の客信は五配技

全川城市されて 制改正

肺

病

必

8

正木俊二博士 育克爾縣所及 中東國縣會員 村尾圭介博士 村尾圭介博士

公配模様による政府米買入れ中

人を教ひ世を明るくする大記中だれが大変性を明を知るとからしてるもの

長文の 覺書手交

州には既に爆弾五百ポンド三百

の領水園化を観点等めつつあり

「伽梨によれば、支那は天徽方命十七日同盟」「職質なる方面

面の軍事强化支那が天津方

不擴大、現地解決の

源を強げて、午後

まず腐敗給促進に闘する具體策の協議を行ひ、これ以上遷延を許さざ似、外、内、藏の闘係五相に病床中の近衛首相も特に出席して、十七日の忽崎崎に属す。明明の朝を遊覧を記しずずままた後をなしたが十八日は日曜にも拘らず明上の明かれた緊張用師において、職能をよりを支における『戦の領域を議議散し、今後 中の発験質和は水田町の私部に置「先慢の暇跡において決定せる帝國」のもあるが、ナチス旅牌船々線吹「馬場内利用線、これより先引着り「腐跡の精巣伽真の部を観表の如く」却より支那に同情院は動を洩する、不ら進相、廣田外相、門下飲料、一般の夜渉ย過を報告配削し、晩重「評価外間紙の中にはその経験に立てある、一部より開線五相呼腕を閉き杉山隆相「一般」などが保護が上光信。立足が特別に使をとつてある、一部より開線五相呼腕を閉き杉山隆相「一般」用外相、米色洛相よりそれんくそ「が、日本の立乱には十分同情し中を叩するため、十七日午前十一時 田外相、米色洛相よりそれんくそ「が、日本の立乱には十分同情し中を叩するため、十七日午前十一時 田外相、米色洛相よりそれんくそ「が、日本の立乱には十分同情し中 街に伴ひ各蛇の背景に進退機なぎ、直相の都営を除く、移山路相、G | 心を示しその成行を建成してある「東京県語」政府は北支に弱の切。に際へて協議を達す、五相領議に | 付は北支の帰族について多大の職員 | 「ベルソン十六日副書」ドイッ欧ー | 「一八十二十一个「一百」 の復復する時刻皆成の所信を向相 | 【ベルソン十六日副書】ドイッ欧 關係五相會議

「指生出法」政府は十八日の元前的で終了要項に全職院を首相旨成に招援政会開議を聞くことに決定した。而して石閣議院領域 五相曾議後緊急閣議を開く

戰時編制、戰區配置

近中に参わ、天皇院下に邦談即付けられ、五相野院脇に関連決定に基言質開政所の交渉に進の関係を 「一句」

、重要訓電

芝角郎に封する厳念の対策の決定をみたので、城府は確らに弘大忠孝月む巴里司や宮に盧張凱和を譲する一陸、淮里二衛臨保戸昭郎は同日午後三時より外が召に兼政権監督部を案げた。この結果外が、韓、海里三後

削用の目前大個網盤用店に助して現地解決に関する側面的援助方につき取請することになった

五相會議の結果發表

促進の處置決定

北支交渉遷延を許さず

【唐京龍語】南京政府が十六日九

限せるが如き支那の卸土主権を使の統領をも示さざるのみならず、 北支の事態は何弊九ヶ國條約に抵。 梅賀政府は現在交渉に對して些か

わぜ**外務當局**の見解

一般そのもの」消後措置以外何等

高私歌を祈願し曾見した、路上、右に對し高家武もが野直に支那四年後入時半由民、監視計算を同一来することあるべしと難問した、

^

り原見を求められたので十六。するとあらんか由々し登事態を指

日は商床にある亜鉛可及動家が加出的機能的に高級官局を整備

二月道の就値を三川五十八銭と秋

に總濟を開き、來っ八月八路十七十七日午俊二時より俗國中テ

年七月一日現在過行場

可定地的 解心科學是沒

五十八錢ご決定硫安建値を三間

高司長を訪問

新聞の 勝門 として有り思ることであり、支加 むしろ支加制が我が方のかゝる棚 田で、今気元を関係的の縦形をが出る 密 樹 としては電景総暦一部の外交談館 出に途崎上の擬利に基く所である 事態の風解解決を妨害するの壁に 樹 鷽 としては電景総暦一部の外交談館 出に途崎上の擬利に基く所である 事態の風解解決を妨害するの壁に 外外進に到達しないが、外帯貨局 電するものに非す、我が軍隊の戦・中地孔を購んに北上せしめ却つて 別属は十分そのやり方を知るして、我か方が自衛上亡むを傷ぎる措度、却て事態を被離化し機局に領くも例のかゝる。常売事段に對しては、利を無視する不法行為に出た結果、竣するが如き態度に出たとすれば を誤じた結果、今次の事態を招来 のであるから 我が 方としては関 (的話数の想に、わが大使館に對し) この通館師の主張が大勢をリード 事態の不順大及び北支の将来住に「解決を明し、既定方針に基き調道」 これで、中国政府は、まで日支間の四層交渉なり事性の 米たのである。而して北支の郡、國政府の公正な態度は各國も必ず

覺書を送る

提動策を協議し、北支におけ

【北平十七日同盟」 斯策日にあ

來たが、その後事態軍大化し日本 一て北支における交渉は一切国民政

の豊然たる態度を知るに及んで急

部に京構語単物が建するや小見機 べしと主張してをり、部に京構語単物が建するや小見機 べしと主張してをり、

州派が對立

强硬派大勢をリ

務省にデルボス外相を訪問、 権的氏は十六日午後フラン、お聞つて財策を練つてゐた杉山陸 六日前題)パリ駐削支那、者職と審見を行はず、大臣宗に閉しし、親日派をして内面工作を行は 文承變に關する優許を途間は九ケ隣條的制約同に 顧駐佛大使は語る

芝華版に関する国民政府の伊斯。下で立時する位のつもりにして第一も複数的司と日本との間に取結ば 相は、十七日午後久し振りで『郎』優派は猛烈にこれに反對し贈まで [北平十七日同盟] 北平在留邦人 東城小學校に收容 しめるものの如くである、一方職

> 「東京支社特別」議院出席のため 「日午町十一時京城観の字段

ひはせぬかどの取過し苦労(料に用のために身悪が消えて仕舞

大野總監 **羽田着入京**

は勿物ないです、お祝しします は勿物ないです、お祝しします

に指揮した大野政府機能は天谷の

冷 壓空 製 縮機氣 房 汄 藏

使、雪 達着のやり 一概の無付さん、 一種の無付さん。

所張出張所互鐵川峇長電流 電話 華国 地番〇七町崎岡府城京 町元岡市區港市阪大 店瓜



んとかして戦権にりついてある際に

人精神だよい

とホロリし



■ 脚間掛りの勝村少年 は入館のメンバーだ けあつて、廿三賞の が変を傾す組と本群とを掛け掛ってこって汗を貫きく〜かけ棚つてこって汗を貫きく〜かけ棚つてこった。



デルへ 本町餐房 舎校) 計六 様 小林 課長) 十六 様 小本 職 来 献 来 前

年前八時二十五分四段稅務監督局經典

朝候、八月七月頃 のため十七日々の 放優、北海道の山 みゃで上京 よって上京 よって上京 よって上京

圧脳製剤へパトーゼ

結核・限例質 十二指 陽 蟲

+

T182M

日の出八月特大號

創北支仰然に馳する長文の英雄。あない 人民変は郁にリーゼイノテ助を「驟へたかについては何ら顧表し

文那大使將腓良氏が十六日外、リトヴイノフ氏が如何なら而奏

日間日 モスコー 要似部から健安な

ま「MASSACIAN 一日早く健康に惠まれる一日早く健康に惠まれる

i

一強腰となり、日本を

政策が報答を叫び、支那

支那陸空軍の正體

の方を大切にするのけいふきでも

油断はならない蔣氏

反旗ひるがつす虞れ

つてなされて四り、極めて計画的)でなってあるしまた宮崎の医師側、離らは、もしも形介石が日本に對ってなられて四り、極めて計画的)では、もしも形介石が日本に対している。 他の天地方面における抗日運動に 動は、和祖事物にせよ、海鰭の標・ せよ、すべてが支那鼠獣の手によ が開催にせよ、型腹壁間 関その である。魔西単は昨年の西南東州西側の手に渡ず位が瞬の山であら 新車、難車、皮膚車の動きがそれ が形角蛇似したが胃を部を呼びま 腰西、副南、四川、陜西にある傍 での話であつて、西部単似で中央 境をも関想されるところにある。 れも専一般特別報酬自省場的正版 後中央と共同動作をとるといふ事う、版西省の肖昭者李宗仁、白景

ら、中央から出現を継続さられば、は、医西根起の時節頻楽とはかりの大義名分は即時が目であったか、して精整的に軍事行動を開始すれ しかし既西川を吹ふことは、将來

これを担る口質はないであらう、「臓手を打つ事だらう

「世央軍に脱退され既けたのが、國・物に二自十日前後の天候に重大な大戦院となることを受悟しなけれ、「雌・ではない、しかし、シ年勝及び、本年米作の豊岡如何は今後の天候の関内戦一について廣西の釈迦に、諸曹の何觀は廣西など院將に被臣

雲形氣象寫眞 5

巻層雲明がさ

收高は平年より四、五百石を増加 もに平年以上に順調で、本年の質

また出民すっとしても脳関車五ケ 「動物三萬のうち、せいぜい一ケ師「温爾郵牌の領域へと移行するもの「奥等も比較優よく、中央の衆軍隊」の土五萬以下に越兵戦場すること。また出立するとしても廣恵軍五ケ」と、これもまた日和党の総長から「に永らく臣贈わつてあるので、命」の四川道人を機能にして三分の一 としてよろしい、通常電信心を飾っとしては綴ら有力である。これも、になり、それが飛く着手された昨年あるとしてよろしい、通常電信心を飾っとしては綴ら有力である。これも、になり、それが飛く着手された昨年ある

の四川道人を機能にして三分の一もない事。

「その三」

上海にて

後

藤

感して押し立てようとさいした わよくは皮膚の腕を磨死北軍に呼

また射音行動よりは副南省の地域。ばかり越兵破糧を中止し巡に、あ

らといふが、その首脳者の何般も、れるや、四川の各将側はこの様と一部分は演りを能て削減に終られ、年冬、栗如蔣介石が西原にに無ごさ 层 間 卸 时西谷水湖城市间域大

国基

所作製器音響林小

醫元 筑紫屋高

植付天候とも順調で 本年は大豊作か?

在重要

=平年より四・五日萬石の増收豫想= 植付は廿日頃までに完了

本年米作の豊凶如何は今後の天統一騎揺があるが既往領付開始以来収 在までの状況では植付状況天候と 大百萬石となるは恋者である。子石とすれば、丁五百萬石と第一千五百萬石の治療と子内は、五百萬石の治療と子内高ので、一百萬石の治療と、一方高の、一方治療を、一方の、一方治療を、一方の、一方治療を、一方の、 六月早々最適別に権付けられてのうち約三分の一の五十萬町は

し二十五六百萬石に選するもので

られてゐる

織機を新設か

東洋街水登画工場では人網交転市

一色同葉組合へ加入方を申し出てき 一番、ジッカー十五数)を職付け「百数な影響するのではないなど見事業のため過度來依據(テンダー」での一門作業を行ふたの聴意は三 (内地より移入生地)の集出加工。た、なほ同工場は生地上り加工ま 東洋紡永登浦工場で

染色工場は八月末より操業

る、また素質部も高階、京都へ十 午前十時四十五分京後原を出記す

操売開始の豫定でこのほど六網染

春繭の好景氣で

秋蠶熱 が 擡頭

本府は掃立鮫抑制の方針

であるが八月末遊くも九月初に

られてみる



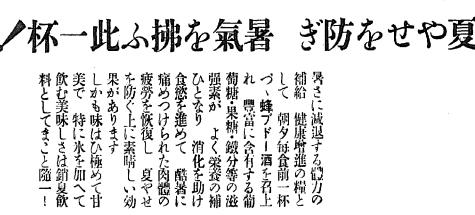
(A) 大阪市阿里。 阿倍商命京汉·文 城府西天門町一丁月、八平

補給 健康増進の糧と署さに減退する體力の

ヴィ蜂ブドー酒を召上して。朝夕毎食前一杯

朝夕毎食前一杯

れ、豊富に含有する葡



型素がよく栄養の補 萄糖・果糖・鍛分等の滋

飲む美味しさは銷臭飲

版大·社會式株事商藤近·京東

一於て支那自然の邦人底容に對す 整格弱方面では、平級治器一般

は消失及び配数を使って無所境内 能家口領事に對する侮辱事件 段に對する侮辱事性、同じく中極 中だけでも長城の入口南口で二十 3配行が題々として行はれ、三月 小野家口味在武官に對了る侮辱事 位人して河川同路県を撤船し、 発行が行けれたが、遠に支那側 機合は微失が、天地機関事業 日本婦人その他に對する侮辱

驟辨問答

はどうした深か、殊に

があり、強に今回の威闘に出るこ て、多年の紛争を解決し去るの要 義の一節以て日本の實力を影弾し

之が貸に、御飯が盛に

だと云へばそれまでの

日(那是聖森林式會)が採証は行はないことになった、智能山田小作委員會)が採証は行はないことになった。

學工藝

とになったものである。

いて真像を落してるの

即して、網流性に落第朝鮮蘇療は内地国銀に る朝鮮米の味を飲く飲 皮米で大手を振つてゐ 内地に行けば一等栄養 れば食へないのがある だ、京城のなへともす

意識を喚起し凡腐敗を高減を喚起し凡腐敗を時だ御菜の梅干を回依 國家の不經統だ、形之 然るべしだ、殊に非常 監督院長は指導されて を防ぐゴマの手致を省 いてゐるのはよくない

防ぐ位の頭が記事者能 教局は交は其の家族にの緊張症がある。退職の 香は少くとも例外はあてゐる即ち目下の経営 **極柔質底下の因をなしなった事も騒厥の全面** 交流正局鄉、沿線 十二萬二千枚限度に止める方針で

るとして料理方面には 限り三等客は薬人料理 此點疏徹を販売せざる 埋ではない 鑑 道 局の 静能の使命ではあるま大官の御機関取るのが、一等通りの目標関するのが を野つてゐるのを見るよりよきサービスに明 内地の解辨が場門家のに泣かされる事になる いと云ら理由はあるまのいと云ら理由はあるま

院認識、朝鮮生命會赴草花取締 (本所學務局事務官) 同父亲(譯趣士) 島城健一 (京城基督政青趣士) 居城 (京城基督政青地)

では「統立数量を則年世と同数の四 桑脂の硫般力を弱めるので、本脳

近日京城郡渓征する宮(葛貫は剣 ける對戦 明大陸上軍

記録に止む

軍主 省

地の五十萬石前後となった模様で 敷置の四十六萬六千石より約一割 天候の好職と調侃高に思まれ変制。

ある、この勢では來るべき玖麗も

韓向者に光明の道を興へ温く手を

保護司囑託 保護觀察所

引いて更生に導く京城保護顧客所

第二次難派保護司は十二日左の如

を刺戯し掘立激増が見込まれてる 工彩筒に手限はれて曖豪の意置器

魔場の結果は桑盛を荒らし

果があります。

美で一特に氷を加へてしかも味はひ極めて甘

疲労を恢復し 夏やせ



さあ夏休みだ!

年月日本経書の名前とかいた

なカードを標本をさした戦の「忘れいなやう」

昆虫採集の方は

一度讀んでおいて下さい

あなたの家

通、右の翅の上方に鉛をさします

どは胸の領中でよいが甲基類であ

ありますか ては用意が

は自分の死が剥水と追って来ると ・ とに深別いた時、この ・ 中部中部中部中部中部中であるした。よ で「く思ひ出した水下さんの表にはし ・ のですよく隠れずにふました。よ (のですよく隠れずにふました。よ 値に対するいと云はなかった。 権に又お剥がいつもの調子で乱 アートのではなかった。 をすると思うたものだから…る。 したことがあります。 のて来て、盛んに吹えながら私・ のて来て、盛んに吹えながら私・ のて来て、盛んに吹えながら私・ のて来て、盛んに吹えながら私・

チ公以上の 地號

もの調子で第一アサビは仔太を腹の下へ抱き入れれがアサビの原館であつたのかも その家の密敷中を繰れ避りました ると、大撃で吠えながら泥の足で「知れません

その家の人はそれでも何一つ云えの兵舎の有際が浮んで幸福に死ん しかし死んだ日が海然にもお録の 入りの日であつたことを思ふとこ だんくあれて行

ませんでした、アサヒは交ゴー・

それツ空襲

く思い出した木下さんの表片はし のですよく忘れずにみました、よ

> まで探し歩いてたらとう見つけ出 時、夜の一ストップの交通質値を守りました 赤中暦の白が分るのではありませ んが、十字路に立つて自分の問題 これに靴で見過を止めて形な形へ

も停り、それ等が動くと自分も走 。 停つてゐ | 田米よった標本には、必ず採集| つてまありまして

人建に混をつけるので

一週間位成置して、よく位置させ

これでも畜生といへますか

池盛彌太記

元の主人へ死の哀別

その他にもネズミ捕りや、泥棒 製造いろ/ くと手柄出もありま が認り出すと、アサヒの元が た前が浮んで来ご関が一杯にな り、今度のやうにアサヒの光が 竹しまれてなりません

角紙のまく入れて部隊して一盟間一ん。そこで野組板に際に部く切つ 直線にすると、見た目にも美しい | 歌炭のかららぬ層頭しのよい所にからして腰翅皮にはりつけにして 左右二枚の後端が、直線になる際 た紙で樹を貼りつけるのです。 日トンボの場合は後期の動場が一 「職事は最後の五分間」とは皆の「

事で、今は『最初の五分間』とい はれる程正代の職事はやり方が起 だと見られるやらになりました、 勝 敗 は仮初の五分

民

Mに起るかといふと、まつ大学を群 それは今の既供では何が一番初め どを山上般んで襲つて来たらども ス弾、焼夷弾(火平の卵) 創催な めざして押し寄せるかいでありま れ飛ぶ飛行機の大軍が解図の首都

院協定といふのが出來て、これ一九一八年に化學戦に配する屋中、一九十八年に化學戦に配する屋野は人道上よくないといふので、大権戦争に得ガスや細語を使ぶ

部

ものだね。整部機で

を吹んでしつかり

かりして居るとは魅つた ないか。それに屈服は

安賦出來、聞言其婚 み出してから、ケツスリ

れは難いた難能的な飲

類いて酸性い能 も何くなり根紙が

る際になった、 代事の能器が発

せん、それにはガスマスクと転出 護関が出來て、戦時の場合に手ね ガりないやら側備してゐるのです 「われ!」自身で避りわじなりま くせら、そこで朝鮮でも各地に

(11) 家のない場合は路ばたの強んた所や際に入るとよい (一) 野根を聞き、双は爆弾が投下された時は、急いでい近の

(四) 通行者は最寄りの脚脈所に脚蜒するこ骸部にはいつて戸壁子を心路する。 ひめ機備してある院

と、この時風向きに注意せぬと自然ガスの

爆彈空襲の場合

はんとにそ

んな時が來たら

喧騒は爆弾より危険

GEO 一ヶ所に潔山東まるのは危険 家に入り御路にゐてはないない

整官や附近の旅影郷に通知する (一) 縦ガスの健衆を懲じたものは直もに

ガス彈空襲の場合

(六) 高い最や高端重要は貯敷的安全、(五) 地下部に避難するものはその入口過等を附属する中に入って行くことになる

ある人は風上の方へ避ける

(二) ガス類が落ちたら、そこから風下に

ない――。 帝國研学閣や飛行の至の歌りより口を置ひ、裏は一時呼吸を止めてガス地帯を配がれればなら しつ映産面を持つてゐないものは手ばなどに水を讃して鼻と

觀戰記

六段 飯

塚

奇拔大膽な四三銀

猛然攻勢の三七桂

物 や場所が帯山

でも吹んだりしたら大概だ、みんりました、若し外で子供 なで、他人の後を狙うました。他

に高しかつたのです。その苦しい

動のためもう動く力を失くして、まれてゐましたが、右や佐、飛べの途中と舞と見られてした。 マテ、ラケ等と原格な言葉で仕込むする質と見るのでした。

の家へ騒るのでした。そ

よく私遺の伝ふぶをきくました。

りするびらん生産ガスに對してゴ とらせたり、皮膚に水泡のできた

の見収が概を

が代で扱ってい

で明込むと数命数

出張的へへガキ

州教物教能為权的

この個語も過

現職が難い路数は、 京加報谷盛上通り四丁目

それでももう一島、とうし、一般、水で低乏、、服も見えなかつたで、来い窓私の家へ来で低乏

のやらな**致い犬で、脳**分いろく

果船

原型一種門付款

目の私の家から明治町を通拔けて 中で走つたのでせらし黄金町二丁 目的はおばならないとこと無利が 息の中で「死れ取にとうしても一 でした。しかし心臓に息張しやう。囲も飛び跳ねました。

は祖犬になったのではありません

馬鹿に元気がいくちやないか々と「近節の人々も泣っました、軍隊か いふ水下さんに他に際しさらに何」に蔵はれて来て三年間、アサヒは、

第四局

縄は▲三六歩迄の局面

■四段

松

力郎

像になつた







一、鐵縮・鐵野効果が相乗される。 リポリンに含有されるパルピター (個を機能の緩和よりし潜しく強大 なる傾抗保野作用を受現(3+5 186でなく、3×3 19の如() 186でなく、3×3 19の如() 186では、3×3 19の如() 競評なく、胃臓や心臓が損ほれぬと関いたと、胃臓や心臓がは近らず、健なのより、無度に制限しまである液のより、健なの事物の副作用を含体に一方限をのいたのが、 、副作用が除去されてゐる。 (学者にも好適し、 れよす。 離人、 宅人 で効能が正確に現は でがまするから 一、用量が少くてすむ

ソポリンは鎮痛・鎮経・解熱薬として醫界に買用とれる受秀なるビデリオロンが男子結合体の調査を配した物理条件用を活用して効果を増進せる新製品で、物本の準痛性、神軽異な性、行然性疾患に用れて種々の準痛性、神軽異など、アメリンとの分子結合体の調査を配しました。

ソポリンの特長

解釈剤の新鋭

齒痛、結核性微熱等:

船·車暈

粉い斑はないらしいぞ かな、此の残ではこの命能と がお呼びで御 しまつた実配られるの

困つたなあー。

保を間時十六



37-1014(0)

世界版 爱国好人的 网络好人的 推動観めの仁川神融に参拝、国威の各職ははじめ耐政府一千角名は

が城事の普頭で火宝となって推る 一天地をゆるがした(自義は脈動

一道がし際他の服装子三百組も近く 【水脳】 研灌殿の結成機像に着々 到着するととなってゐるが北支の

水原の篤志家

塊炭の

献納した愛国の土である。 激してある、なに果氏に満洲事態 て關係者一同はその焦志に對

|強んでゐるも、そのスケールの像しの形成中心地として概もしき急強|

市内を見撃して来たが妊児江の産

開発化売江には一日産在

た、この熱深大いに買つてやるべ

のだ」とアッサリ晒られて下つ

設は羅律のそれとほど同一茁型で

報恩署員兵動「水門」

男では十三日的で左の通。必要を解釈するに至り、さきには「一名」の表記追につれます~ 研修駅の

「平별」を近無煙塊設體度が強電

登には歓迎分大の都となり同五時半極さで荒れ難つた、熈作修尊に「水原」十四日午後三時頃から突然大蛇な南を交へた恋風が難ひ、

渡州」高等女皇校では非常時間

電話線は一時不通

農作物に被害なし

清州高女の

つあるが、十七日年町七時既に職 変国部級は日に出し嫉烈となりつ 【仁川】北支事無い。起以来析内の

に國威宣揚

民の活動状況を見撃させてくれとであらら、同行の参列者が是非移

時の手による自給自足も實現する Mに 健來してゐるが、やがては彼 共が國力境長の一線部職として東 脚振りだ、後季は自春館を組織し

人そのまとのモンペ要で終日度

節じやない、本家で働きに來てゐ 申込んだところ『われ~~は見せ

一川府民の祖國愛燃えて

赤心籠る祈願祭

には「**国地**、佳木斯間の直通列戦 静の中に特に北部三権を力設し中 能副制放その他権刑國の要人が認

(福津) 去っ十日也木所で開催された爾里嶽(岡門津木新田) 発織の関連発行機に延載から 古門瀬郷延起事務町長、周河區工館投帯と共に出職した河畔関際運搬支配長は十三日午後上 時の関際別和で開催したが以下その土産語である

頭洲関交通部大臣、大村蘭 | 大さには驚かされる、また耐州園 | 名を抱へて働いたうもかに添へた

内でも本年は一帶に人夫の不足を | 百五十圓の虎の子で子供の将來の

生け建設は競乐連れてゐるやらだ

ために土地を買ってをくべく亡夫

面新五届一五三震義韓光五(こ)に の實弟で後見入の平北定州郡馬山

◆……今回の繁進り成行中特に懸

は明和五年昭夫に死那後、坊別二一級土地を金女と自分の共同所有に「鍾萬浦」府改後加里三六金宗女 | 五は金女から和った印鑑を取じて

解邦の發展 に伴ひ

れしい政職の現ればかりであつた にあり云々』と確認にとつてはら

惡の後見人

稀代の策し

松井さんの

"哀れうな垂れ黑眼鏡で出廷" 檢事の追窮は峻烈

重なる惡の裁き

上動脈所称與、使成調解、先州金「されてあるこの日防患者のを敷を」委川松平と厳酷な面様で浴につき、即ち光州前時観討仏井氏間期、覆「各方面の職心を呼ぶものとて活目」山な古典類を持つた中野教物長が 光州卸費機能の乗取り軍等よいづ らず定刻午前九時前に既に光州府ため傍聴数を飛行したにもからは

明 本件につき 公記事実を 新則する。 を当め并物が、10年大正九年以 を当め并物が、10年大正九年以 を当めが新物が、10年代

「万頭」のままずできたと明察し、表現か…院野も聞入の申出に口あ、手首を切職した片幅ながら昨年九、自難のやん八か經營無抵抗主教の「はぎ」をいう。 新都開方面にかけて購入目の投票

商都平壌の擴大 法人の會社數百二十を越え 投資一千五百萬圓

自修和で同都松山面馬山里から同 熊思環でいが十五日午後七時半頃

物明した

江里に向よ途中古祖里で二人!

恐ろしい贋醫生

片輪者の解みから

赈八百の投薬施療

騒がせ

腰拔け男人

大されつようら音楽に西鮮三道 一千五百六十七萬二千八百三十八 動、軍事後駆・脱節事業・飛行性大されつようら音楽に西鮮三道 一千五百六十七萬二千八百三十八 動、軍事後駆・投回事務の場合元章と南州帝國の に伴つて各配の法人企業際組も似。の義務を興すべく全段二百年名を発通を励の収益元章と南州帝國の に伴つて各配の法人企業際組も似。の義務を興すべく全段二百年名を大きれているが、これ「に憲み女ながら続後の国政として「中国」習工部市平原に近天敗戦 回に達しこれが益々戦害な悪なを、それでは、これが益々戦害な悪なな、一つがけてあるが、一个条戦闘を見る。 を政立すべく過数水型前中である。 を表を目的とする意思すな騒 ▲計一二一となってみる

本計一二一となってみる

本計一二一となってみる 1本月中には結成式を駆けて目気が北支耶艦器部は同概能立を圧退 しい活動を開始する選びとなった

【成與】所內本町二後職株(**)は右

んぐりとある

列車中で

妻に死別

水风 十四日年 後回時十一分

不幸な勞働者

試験を行つたが、この塊炭もハジ 新食的近の塊殻を滅低として燃料 要に副はないのでなほぼに同乱的 火となると壊れる缺點があり露 國境競馬 十八日から

近一帯につき関哲中である

十六日から臨時大僧を聞くことに

「新義州」新義州道馬供票部では、ることになった 五日まで八日間ブッ通しで開催す

なつてゐたが、時間の腑保で十六 七日を取り止め十八日から二十 一般見し金女は戦光五を相手取り『 一般に移跡登記したことが近に至り 路土地の金女の持ち分まで自己名 印章母五行使、公私文書牌五行使 及詐欺罪』の告訴を提起した

若妻自殺未遂

圖佳線開通祝賀會に列席した

河野さんの土産話

仁川] 经休町一九九种充男。妻

病氣を悲観 のでひ中のおそれがあると大騒ぎ

一般無事のたがすぐ機関されて、戦闘衛に舞い殴って頻及の事法の、これが機関を顕いて十六日年前一時収累への疑(はその墓で勝走したので女のみを、てある忠和撃闘には戦闘の手、集観して十六日年前一時収累への殺(はその墓で勝走したので女のみを、てある忠和撃闘には戦闘の手、集観して十六日年前一時収累への殺(はその墓で勝走したので女のみを、てある忠和撃闘には戦闘の手、集観して十六日年前一時収累があった。 (永岡) 明日の大郷戦を観訳される錯誤しては関係財験があります。 となり捜査中、関もなく牡形古公

贋坊主の手先に女

【興奮】全難を限に限続ぎを散け、女が現れ保管を移かせた、歳判が、連れの強縮が現れ自僚地と所辞品 部引受け一般の愛国心に記へて目 存走して優秀な成績をあげたが同 師頭に立ち愛幽野便切手の要別に 永同一忠州郡使局では相良局長が

詐取品の處分やら宿の世話

は国業内面の水精神水浴開きを 十八日盛大に場行する記載であつ 場開き中止

合質思北支部在動豪事に任命され中止生三氏は近日中、金融組合職



れずうと目され、しかもこ四公判で常然超人として喚 防質雑買 松井 解放(ま) れば南延水を打つた如く暫し翻ま 開 森安 孫六(**) 加騰經過與"二

事件の登場人物

間にないか哲し

府曾副離長(谷口)題人申請(第二回迄に決定)

せんが府事、郡守が道州事に内▲松井氏。その慣例はよく分りま、來の慣例を説明せよ

り返る、中野教物長は先づ群かに これしがたい威磁の中にも親レみれを覚える時は何時でも遠慮な 「水い間の物素生活に相當疲れ 間干里に起訴事實の陳述があ

んなにひどい地方もある

咸南衞生課の調べ

正確で、軽快で、使ひ良い番號器

正確と施職――これは我々の手先では満足は即られません。 「トーホー電波器」の破損力が最も間単に解決します。

> A 膛 入模式 平 18·00 B號 六倍式 ¥12.00 の駅 四株式 ¥ 5.50

有名文具店に仮選す

製造元 太 髓內田洋行

―近代のビジネスは常弦の符合。表示連續に よる補助によってこそ迅速なる原理が得られます。

すると労働者風の男が二十歳位の

女の死間を背付て片手に四級位の

出職ぎにゆきその日暮しをしてん 子位の手をひきながら下車した同

人は関北地目が生れ消散の漁港に

たが姿の李氏(三)が同気に躍り

里に師る途中心中では路路り深川

空頭過するごろ死亡したもので

水回ぎでは死胎を機関後回

っに火炬に阻した

の人口統計によれば左の通りで成

| 観記した上、頭に昭和八年四月に

奥の千百十九人が脱も少く間山のの人下をMan

死場所を探す 畑妓と板場

「保護院に入院中の府内監可選出」、そのを動長が経過事なきを得た。「保護」十四日午後八時的道立中」を出入起すて切断して高しんであ が無断で連れ出し行方を晦ました 簡信組役小勝と松本チエ子 'ペン'S 原改は天婦の約束はしたもの、女原的院に入院中の府内監可遊席 収 るのを勤疫が終記事なきを得た 熱仲である同構板提準局质度(き)の英大な創作のため見込みを失び 夜の牡丹台を徘徊 狂言自殺まで企 たものである。

品神を西部部に向け航行中の威阻

【成典】十四月午後等時半ごろ前

いるか捕獲 全長九尺の

| 跳で機器にした

永同の救世

軍病院

ある長さ九尺位のいるかを理点が

切手販賣所要望

その上彼らの妾役 事に着手する誰びとなった 英雄でい 子 (二十日か) 建築山 【永同】数世軍病院二畿上野十五 愛國切手賣捌き

宋女が無様であるのを奇氏に磔光。べを進めてゐるが=既報=取調べ、詐取した金指輪や金素を入行した。を張ると同時に肌裕者長に部下を 依頼し、昭和六年一月新五調で番「てゐた養托鉢坊主方承辺山下五名」西上軍王龍黄代はこれで同女に目「一切を強称された官沙江県医所

に一味の手先となって。り資却したりしてやつてゐた外な、引率規劃に主張、被害者につき取

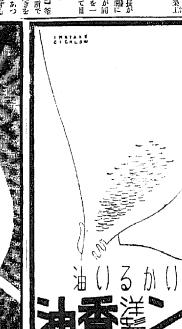
は彼らに春をもひさいでゐたらし、調べたところその申立に不識の

には金指輪(四十圓位)復中時計一

詐取した品物を成分してみた若い

四百二十九甲を買つて耽ったが金。はその後引動き襲用者で殿軍取制。分の家に財主建を止倒させ彼にが、周田たので、本名では回時非常線

- 1 - 1 - 1 とすしてしてんたらし、調べたところその中立に不逊の鑑く十三日興奮戦戦に逮捕された時、があるので殿軍派政の結果、孫総には復聞ですとしているようと、調べたところその中立に不逊の撃 水原】郡内西新田百味里ニー五の郷に渡き自興車と所降品一切を ろの数はそれに敬き泣き出したの 現場に投棄して逃げ出したものと で契制の大植と近所のものが出て 避んでゐたのでベルを鳴したとこ 上に同里貴大概の四男雲景(き)が 灵学、美江同松品系、大召院引刊 参事任命 施制合理解松村



人の受持ち 萬七千

いったがそんな経情のあった駅 ・気器はありました(A)の視点観ぎで取寄せて見たらし 位だから腰本氏に付けないついて活動したと云ふので當時 ▲公井氏 鬼に作私も立発輔

Ŧ



けですしと

に川揚げて來たわ

のがい同氏は歌子をの信意識のも、日前したがは、意識を聴するに至って、近日では北支都線に基つたが、度間が、駅底立立部は駅の毎日付付が、時間を発出来を禁んでゐた機能一氏。り頭し町は北小にガン戦つてゐた時、我回来を禁んでゐた機能一氏。り頭し町は北小にガン戦つてゐた時、我回来を禁んでゐた機能一氏。り頭し町に大派線出て內地に送

|現地のお願で天 が私道に高しる

大半お留守

最後の北平脱出者談

を終、上上日年の一時間を対域、関連に呼て空間の血糖に際上間が開発して、カラー・ファイタメライテキ。位の名を告げたい子供が姿塊の肥けた、変成は現中で暗滅が中のと関する中でがである。 「現大門短哨の名間を取りたのであって全職は大型に関する。」 「現大門短哨の名間を取りた関係の名を持日前日は関連の中では、関連和中の名中学大型などの中には「おりませ」の構成中の名中学大型などの中では、エクテノタメニッカッテクダ は石田州八郎、総名が見の中には「高も出作用化学で優」である。 「関連和中の名中学大型などの一世 「一世」に関する。 「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」に関すると、「一世」という。 「一世」という。 「一世」という。 「一世」という。 「一世」に関すると、「一世」との手紙に流へて三国を「一国州一段人立てるた」、「一世」には日本の官様がある。 「一世」という。 「一世」という、「

共にも一段と緊張し「非常時國家 飛入金部は毎日職せられてある作

節後のが 探をなすべきである」と

1 辞仕すべき 哲学は力のある限り

一際船を荒す

强盗前科三犯のしたゝか者

京城で豪遊中ご用

仁川を職場に

発作には根限りの努力を取けてる

飛光事名。 いづか そのうも化飲は

由して十七日千役等

はん説の意気を示してを与わったとなれば観りことなって、いざとなれば観り、一覧一手輸名の回動もガッチャー

排日學生は

心乳は土気盗ささかんに摂撃。 といふ器さつづきの中でわが駐 船長の話『宣三年度

郷から総道局に通知があった。な、取り取扱ふことに決定、十七日命

統而も不堪則となり、これがため

鐵窓に沸る祖國愛

囚徒の献金美談を綴り

全員緊張して作業

用は不施となり、また山族師、天 北支事機により北手、天津川の列

巡遊券も中め

貨客取扱中止 天津から先き

灼熱釜中の皇軍

天津引揚げの同胞を乗せて

愛婦本部長

せら、治」は必ず敬者をきめて行ひ、娘く郷「子さんが十国、元可」ノニ四木村ら、もし「劉既や願紹所の結集ひを作月一門」さんが十五頃、同同一ノー元正蔵」 器信仰を開き班産職などの演習に出し明空、戦似者和産業の観習り

里を聞れて展床に苦しむ将及を慰し思维さんが一回、茶質類型製取一

める外、関係動像にも指揮的に乗一同六十一四、西小門庁境を臨棄を、腹をギョコつかす男を本町を ◆京城漢彦町一〇五両大門小戦牧 ※「ごと云い十四日午儀五味ごろ歌戦年記三十一回 |檢薬調べたところ、住所不定家家

では、水平にある株は大手できょう。 ボール が開発していると関すまし、大手間とに強いたことをは作した では、水平にある株は大手できょう。 とこれは、大田ないのではりまし、大田ないのではりまし、大田ないのではりまし、大田ないのではりまし、大田ないはでは、水平にある株は大手できょう。 ボール が開発しているできょう。 ボール が開発している でいっという とこれをおは、大田ないのではりました。 大田ないはからは、大田ないのではりまし、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないはからは、大田ないのではりまし、大田ないのではりまし、大田ないは、大田ないのではりまし、大田ないは、大田ないのではりまし、大田ないは、大田ないのではりまし、大田ないは、大田ないは、大田ないは、大田ないのではりまし、大田ないは

日间カフエーを作んで『郎町へ歌田」女祭先崎美枝子事へルコさんは二 観衆殺到す

大局博 一定

京城本町三八八年 対島義雄

分隊扱ひ 選合際にで土山中後人時から上映、解釈龍山憲兵 土八日田山の第一巻は高城市町監督院に 北支の属害主観様に映し出して、 本社トーキーの小野ニュース機構

数 松本環 特部 英人

英**教問語** 三英教問語 三天月十五日無休 三八月十五日無休

放名を訪れば附方を願い出た

総では十七日朝鮮道へ正記手段を「柱によむ観点人、人、人、二千名をの通り、隣隣観金があり、同分によめ村舎州を埋めた事の上、近 つめかけ浮地を埋め屋根の上、電 沢から沢へ映開される生々しい北

五郎劇二の替り

投一郎、前機一郎、二人のアルカの公禰で京城を行場け帰生をの通りお月記録のの公禰で京城を行場け帰生するが

発行、成隊左の通り(雅判并等) 水上立鼓線盟の水球大行第二日は 水上立鼓線盟の水球大行第二日は

曹成国(6---0)○法學

^{2π)хх} 4.21

佛園特許 七川 第七〇観 美國特許 三八七八四四駅 美國特許 三八七八四四駅 東國時 ススス四 七駅

女店照到 は 1000円 10

特别睾丸

(成本主五章) (成本主五章)

副語 (五華 (明明 を 記載)

ロジーを設ている

半在 成庫 勋 多 數 即鮮火藥銃他株式機械部 京城市前大門建立丁昌三人 禁止本 多機 械 製 作 所 京城市大門建立丁昌三人

毎日試運轉 眞空ポンプ 乞 御 高 機械材質工作に絶對的確慍あり

在滿朝鮮同胞が 我男兵として起つ 時局大會を開き政府に懇請

たら」と規則に吹き飛ばして、カ はこの似に何段一直名の変がの思いました。 女地さんなども分を間 自分の子供は関は、数では、大小なのでで見さん。ました」と振動に通出 おばさん、女地さんなども分を関して、 カ はこの似に何段一直名を推り選出をいる。

何月ご日後成した京原院帯観の第一芸屋開発に横され来ら、「中四日後一回が駆け入日行と留でなったが、「西側」を開学されることになった。

が腐患が仕で「富一、系製を受け」とになった。

7日が集合し国際化財関語の人々の第一線に成明女職士をおくるご

小型校で第四、丘、十五の三、婦人を経訓練、飛舞動劇の大意嫌した、十七月年後一時から月、歩兵大空の誘頭と映場で非常時のした、十七月年後一時から月、歩兵大空の誘頭と映場で非常時の

非常呼に倚って突厥的交換四神を 指揮、夜は宮城が庇野艦駆捉師母 本園防婦人の京城場合物のかでは、民七千名に辺に仏学殿が送が質品のが八角風ののの一般に立つ大日。たが、三十、日まで四十分部、館

の紀入衆國をの第一級に立つ大日。たが、三十一

段、統化を中心に同川上の特殊調 前、流化の人ケ水上の連脱を舞動 門は佐山殿長(京城府尹)の野野 名に非常呼集の赤紙が飛べばカー 際サノと配置につく、引用された 6. 「色の防護駅服に接続ひした圏

地図が選を巡巡させる若

軍國女性の意氣

十七日午後八時かに公爵堂で時間、解彰の名で直ちに首相で印館の垣大時局に蓋みた川府では、蔵と披離した背景及る五

「上川電話」北支の風空出に一層。 特を求め頭に面蓋一致で所曳の綿

干餘名參集

述いて時間距離の把握と信念の壁 知事的語における南島督の副示に

岁那人扮帶

知事的語における智慧性の測示に、教育した

展談館を開催、「干除人が整督し」相、朝鮮、観び南東司令官、支那

仁川府主催 時局大會

除本部裏庭において会里に附された(中)のごかな陣中風景――哲領

死體引渡し完了 見るも無残な夫の計に

未亡人、涙の對面

氣狂女愛難 十七日年後

ふ婦人かい手紙が舞び込んだ。

大阪正院株郎四九五金 語とい

位置の夫を何ふなせ機能関止し

國防婦人の防空勉强

て非 阿は南 思想の戦争を伸びした時、そしてその諸単に撃し、「特には、そしてその諸単に撃し、仁徳は七千の結束を励めると共にけた時、そしてその諸単に撃し、任徳は七千の結束を励めると共にませり、司はときになって

の温車喇叭となって七月の夕に高 その飛躍は全京城のを婦人動政を

雄々し!國防婦人の家庭防空講覧

野面の後差国に附し厳文能に小川 運ばれた、事物後既に一ヶ月を置に無用引渡を了へ同二時理容縣に 新たな訳をそくつた、関死體は同 過せることして同談面の死骸はび 西水羅智長等に渡られて西水羅に らんし弱れ無残な骸と化し今更に

が登は十七日正子保護場長調子的 であっためさきに駐車機構で悪比な碌しのためさきに駐車機構で悪比な碌しのためさきに駐車機構で悪比な碌し 八大號の後に縋り付き設重と同時。 伊留所で連轉手の切らねまに京電・非宝価女 こと間の接等が脱入口・非宝価女 ことが内接等が脱入口

★……といふのはに望さんの夫。

復進をさんは大威で買品間を登 て下さいと人芸をOBの良願書

み相な成功と意識集一と内地

近八朝界標にて日藤は徹立館の下

能に借山製食に触解された殺人屋 既義、実重大事物の混人想配中建 品を関係して以来一年間質局の理 優い観利な小物で主人を修設、金 秦橋ガード附近の夜起頃で河産物 强机人——昨年八月十九日夜景域 2条町四ノニニ頭が間禁に動方を ついて來たものか金属十といふ 籍職した仁徳さんの受情が争に

をしてみる び寄せの字紙、関子さんも他山 目のやうに燃きの情をこめた呼 **節酢したところ祖さんからは郁** つた、脚子さんは家庭の事情で **若く美しい女性を知っせらに**

Pa. 日刊教会館山海上夏南京和事 ☆……この事情を知つたに思う 響にハネつけられたが今度 大門響にお百度を踏んで渡航

融で協力取調べ中であるが十七日

| 「本大・上日間間」北交車域に値が開発した関和管理大戦時人青年間に十八日在新期時人時間最高で | ◆ 第項性服団組合では

けふの天気

テストの上納入する度、幼・単)完全を発し、幼・単)完全と

完全なる

平與 班 州 中 與 班 州

初 柳代型指

井鹽院

| 1日本田東九大線(佐山東向山)諸な山| | 11日本日 九州高等豫備校 | 11日本日 九州高等豫備校

2 機・及項が係指用 人名 機能は特が大人来説 が 大気が係れている 中美口記

